

ワーファリン（抗血液凝固薬）を服用されている方へ

かなり前、ワーファリン（抗凝固薬）は、**心臓の弁置換**（人工の弁を体にいれた）をされた方しか飲んでいませんでした。今は、不整脈の代表的疾患である**心房細動**（60代以上男性の2～5%に認められます）の方で、血栓症発生の危険が高い方に、**ワーファリンを使用すべきであると勧告されています**。血液をサラサラにする薬であるアスピリン（バップアリンやバイアスピリン）は、脳梗塞など心原性の血栓症予防の効果が無いことが明らかにされたため、**ワーファリンを使用されている方が増加**しています。ワーファリンは、納豆が食べられないなど、**ビタミン K の摂取に気をつけなければならず**、また、凝固能の血液検査で内服量のコントロールを行う必要があるため、処方する方もされる方もやや難しい薬です。しかし、**2008年**、心房細動の血栓症予防のガイドラインから、アスピリンが撤廃され、ワーファリンが推奨されることになり、長嶋監督の例もあり、ワーファリンが極めて重要な薬としてクローズアップされています。

ワーファリンにとって代わる薬は、出来るのでしょうか。現在開発中です。しかし、ワーファリンのように血液凝固以外に副作用の少ない薬は、まだ開発されていません。ワーファリンは、血液の固まり具合も血液検査でわかりますので、キチンとコントロールできれば、かなり安全な薬です。前腕の皮下出血などの副作用はありますが、これは許容すべき副作用とされています。他の食べ物や薬などとの相互作用が強い薬ですので、専門医にご相談ください。

納豆や青汁、クロレラは食べないでください。

